

別表 4

自主検査チェック票（定期）

		実施項目及び確認箇所			検査結果
建物構造	(1) 基礎部	上部の構造に影響を及ぼす沈下・傾き・ひび割れ・欠損等はないか。			
	(2) 柱・はり・壁・床	コンクリートに欠損・ひび割れ・脱落・風化等はないか。			
	(3) 天井	仕上げ材に、はく落・落下のおそれのあるたるみ・ひび割れ等がないか。			
	(4) 窓枠・サッシ・ガラス	窓枠・サッシ等には、ガラス等の落下、または枠自体のはずれのおそれのある腐食、ゆるみ、著しい変形等がないか。			
	(5) 外壁（タイル・モルタル・塗壁等）・ひさし	貼石・タイル・モルタル等の仕上げ材に、はく落・落下のおそれのあるひび割れ、浮き上がり等が生じていないか。			
	(6) 屋外階段	各構成部材及びその結合部に、緩み・ひび割れ・腐食・老化等はないか。			
	(7) 手すり	支柱が破損・腐食していないか。また、取付部に緩み・浮きがないか。			
	(8) 消防隊非常用進入口	表示されているか。また、進入障害はないか			
防火施設	(1) 外壁の構造及び開口部等	①	外壁の耐火構造等に破損はないか。		
		②	外壁の近く及び防火戸の内外に防火上支障となる可燃物の堆積及び避難の障害となる物品等を置いてないか。		
		③	防火戸は円滑に開閉できるか。		
	(2) 防火区画	①	防火区画を構成する壁、天井に破損はないか。		
		②	階段内に配管、ダクト、電気配線等が貫通していないか。		
		③	自動閉鎖装置（ドアチェック等）付の防火戸・防火シャッターのくぐり戸が最後まで閉まるか。 ○ 常時閉鎖式は最大限まで開放して閉まるのを確認する。 ○ 煙感知器連動閉鎖式は、防火戸を止めているマグネット等を手動により外し自動的に閉鎖するのを確認する。		
	④	防火シャッターの降下スイッチを作動させ、シャッターが最後まで降下するか。			
	⑤	防火戸・防火シャッターが閉鎖した状態で、隙間が生じていないか。			
	⑥	防火ダンパーの作動状況は良いか。			
避難施設	(1) 廊下・通路	①	有効幅員が確保されているか。		
		②	避難上支障となる設備・機器等の障害物を設置していないか。		
	(2) 階段	①	手すりの取付け部の緩みと手すり部分の破損がないか。		
		②	階段室の内装は不燃材料になっているか。		
		③	階段室に設備・機器等の障害物を設置していないか。		
		④	非常用照明がバッテリーで点灯するか。		
	(3) 避難階の避難口（出入口）	①	扉の開放方向は避難上支障ないか。		
②		避難扉の錠は内部から容易に開けられるか。			
③		避難階段等に通ずる出入口の幅は適切か。			
	④	避難階段等に通ずる出入口・屋外への出入口の付近に障害物はないか。			
火気設備器具	(1) 厨房設備（大型レンジ、フライヤー等）、ガスコンロ、湯沸器	①	可燃物品からの保有距離は適正か。		
		②	異常燃焼時に安全装置は適正に機能するか。		
		③	ガス配管は、亀裂、老化、損傷していないか。		
		④	油脂分を発生する器具の天蓋及びグリスフィルターは清掃されているか。		
		⑤	排気ダクトの排気能力は適正か。また、ダクトは清掃されているか。		
		⑥	燃焼器具の周辺部に炭化しているところはないか。		
	(2) ガスストーブ 石油ストーブ等	①	自動消火装置は適正に機能するか。		
②		火気周囲は整理整頓されているか。			
電気設備	(1) 変電設備	①	電気主任技術者等の資格を有するものが検査を行っているか。		
		②	変電設備の周囲に可燃物を置いていないか。		
		③	変電設備に異音、過熱はないか。		
	(2) 電気器具	①	たこ足の接続を行っていないか。		
		②	許容電流の範囲内で電気器具を適正に使用しているか。		
危険物施設	(1) 少量危険物 貯蔵取扱所	①	標識は掲げられているか。		
		②	掲示板（類別・数量等）には、正しく記載されているか。		
		③	換気設備は適正に機能しているか。		
		④	容器の転倒、落下防止措置はあるか。		
		⑤	整理清掃状況は、適正か。		
		⑥	危険物の漏れ、あふれ、飛散はないか。		
		⑦	屋内タンク、地下タンクの場合に、通気管のメッシュに亀裂等はないか。		
検査実施者氏名		検査実施日	検査実施者氏名	検査実施日	防火管理者確認
		年 月 日		年 月 日	
		年 月 日		年 月 日	
		年 月 日		年 月 日	

（備考）不備・欠陥がある場合には、直ちに防火管理者に報告すること。

（凡例）○……良 ×……不備・欠陥 △……即時改修